日本キリスト教団 **東金教会〔２１〕**

2017年5月21日 復活節第６主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	藤田
奏楽	中里
受付	澤本
案内	安延
名札係	足立
礼拝感謝祈祷早乙女	
〃 〃	藤田
前奏	中里
讃美歌２１	一同
使徒信条５６６	〃
交読文２０	司・会衆
主の祈り５６４	一同
聖書 ローマ書 9:1～18	司会者
祈祷	藤田
新聖歌３２５	一同
み言葉の伝え	中村征一郎
「神の御前で赤裸々に」	
讃美歌３８５	一同
献金	
礼拝感謝	早乙女
〃 〃	藤田
報告	藤田
頌栄５４１	一同
祝祷(派遣)	中村征一郎
後奏 新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会	5月24日(水)午後7時半
早天祈祷会	月-土7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習	本日礼拝後
臨時長老会	本日礼拝後
聖書輪読会	5月28日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会	5月28日(日)10:25-10:30

【報告】

☆先週持たれました教会総会におきまして、朴 先生が東金教会担任教師として招聘されました。これからは中村牧師と共に東金教会での働きを担って参ります。主の教会の発展のために牧師、教会員が力を合わせて進み行くことが神をお喜ばせする道であることを改めて思わされます。どうぞ宜しくお願い致します。尚、朴先生の就任式は６月１８日礼拝式中で持つ予定です。

☆先週の総会において足立 、安延 、中里 の各兄姉が長老に選任されました。これからの２年間宜しくお願い致します。尚、長老任職式は６月１８日、朴教師就任式に併せて持つ予定です。

☆宮中 、土肥 、藤田 の各兄姉は２年のご奉仕を終え、長老職を退かれました。お働き、有り難うございました。

☆６月４日のペンテコステを覚え、感謝献金をお献げ下さい。

☆６月１６日午前10時半より午後２時半まで千葉支区婦人部東総分区集会が持たれます。会場は２階会堂です。

☆先週お出しした「4月分献金報告」中、安延 姉の記載が漏れておりました。お詫びして訂正致します。

※幼稚園理事・評議員会を５月３１日午後７時より「いちょうルーム」で開きます。理事・評議員の方は宜しくお願い致します。

【5月21日～５月27日の誕生者】

○石黒 兄 ○松本 兄 ※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(5/14)	20	36	56
聖研祈祷会(5/17)	3	4	7
聖書輪読会(5/14)	3	2	5
教会学校(5/14)	9	21	30

早天祈祷会

日	男	女	計
5/15	1	2	3
5/16	1	2	3
5/17	1	2	3
5/18	1	2	3
5/19	1	2	3
5/20	1	2	3

主日礼拝献金(5/14)……29,000円
教会学校献金(5/7)……7,817円

【今日のメッセージ】

題［神の御前で赤裸々に］
聖書 ローマ書９：１～１８

1．だれを意識するのか

2．同胞への愛

3.パウロの歴史理解

【次週(５月28日)礼拝案内】

題 ［神に口答えする私たち］
聖書 ローマ書9:19～33
交読文 21
讃美歌 ２３番 ３２６番
新聖歌 ２３９番

【次週(５月28日)礼拝当番者】

御言葉の伝え …	中村征一郎
司式者 …	井上
奏楽者 …	中村
受付者 …	阿部
案内者 …	藤田
名札当番 …	藤田
礼拝感謝祈祷 …	森川
〃 〃 …	藤本
csお話し …	森川
会堂清掃者 …	幼稚園教諭
〃 〃 …	
花係 …	小林
看板書き …	藤田

【聖書から】

だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことが出来ましょう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。

ローマ書八章三五節

信仰は変わるものである。又、変わらなければならないものだと思う。つまり信仰は、自分中心から神中心へと成長して行くものだと思う。

初めはわたしのための信仰である。わたしたちは様々の要求を携えて神に向かう。純粋に魂の平安を求めて、あるいは病気や貧困とか迷いといった問題を抱え、神に向かうことが多いと思う。その抱える問題が何であれ、それらは自分の問題であり、それの解決を求めて神に来るのである。

けれども神との出合いがあり、生きたもう神への信頼が増し加わるにつれ、わたしたちの思いは自分の要求を満たすことから神の求めを達成して行くことに変化して行く。主イエスが、その最後の時に、「主よ、できましたらこの盃をわたしから取りのけて下さい。しかしわたしの思いではなく、あなたの御心をなしてください」と祈ったのはその典型である。神への信頼が増すにつれ、神の国に生きることの期待が増すにつれて、自己執着から解放されて行くのがわたしたちだと思う。

信仰は進歩するのである。

しかしそれと共に思わされるのは、このような自己執着からの解放は多くの場合その進展は除々にだと言うことである。わたしたちはその度合いを明確には知り得ない。ただ少しずつ自己執着から離れつつあることが感じるのだと思う。そしてそれで良いのだと思う。自分の命すら惜しげなく捨て切る者になるのもいる。あるいはもっと小さなことにその執着を捨てるだけの者もいる。その捨て得る量をわたしたちは計ることができない。主が赦したもう嵩に従って、己を主に預け、生きて行く、それがわたしたちの信仰の歩みと思う。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。